



東京都心から約130kmの利島。
富士箱根伊豆国立公園の中にある利島。
利島の海は美しいも新鮮な魚介に囲まれています。
海中遊泳も可能で、季節の海の風景と味を体感できます。

海の幸



水を大事にしていた利島は、各家庭に雨水をためるための「水がめ」がありました。今では簡易水道の貯水池が完成、脱塩化装置の発達により水資源の危機は軽減されました。現在でも、集落を散歩するとわずかに水かめを設置しているご家庭に出会うことができますが、そのほとんどは庭の樹木の水やりのために使用しているようです。山の神社の入り口には、「シテ」と呼ばれる笹の枝を使って雨水を貯めていた当時の水がめが残っています。水道は、昭和39年簡易水道の貯水池が完成、給水が開始されました。



ウォーキングマップ

私たちの利島は、伊豆諸島で一番面積が小さく、4.12km²で周囲7.7kmの断崖絶壁に囲まれた島です。徒歩約3時間で一周できる可愛い利島、海山の自然があなたを待っています。

利島へのアクセス
飛行機を利用する
●調布～大島(25分) 新中央航空 042-231-4191
●大島～利島(10分) 毎日1往復 東邦航空 04996-2-5222

調布飛行場 竹芝桟橋

下田 大島 利島 新島

船を利用する 東海汽船 03-54-72-9999
●竹芝～利島(高速船:2時間20分) (大型客船:9時間)
●下田～利島(客船:1時間35分～)

高速ジェット船「セブンアイランド」
春から夏にかけては主に大型客船やジェット船で行き来する観光客や釣り人で賑わいます。秋から冬の風が強い日、船着き場にかかる大きな虹は圧巻です。

利島村役場
〒100-0301 東京都利島村248番地
TEL:04992-9-0011 FAX:04992-9-0190
http://www.toshimamura.org/
制作 特定非営利活動法人 nature center risen

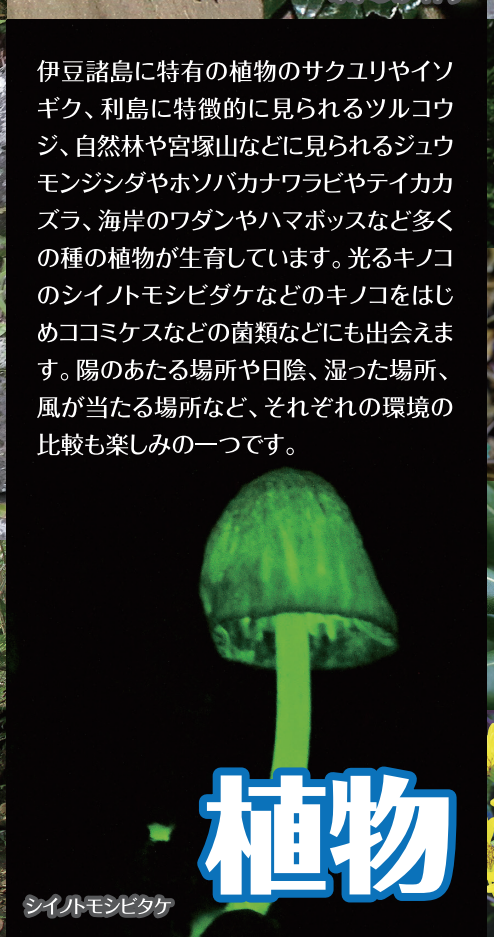
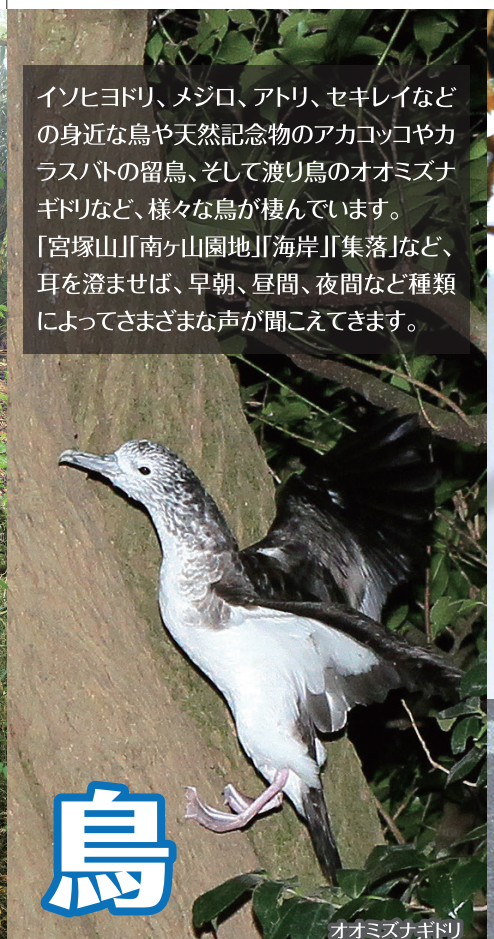
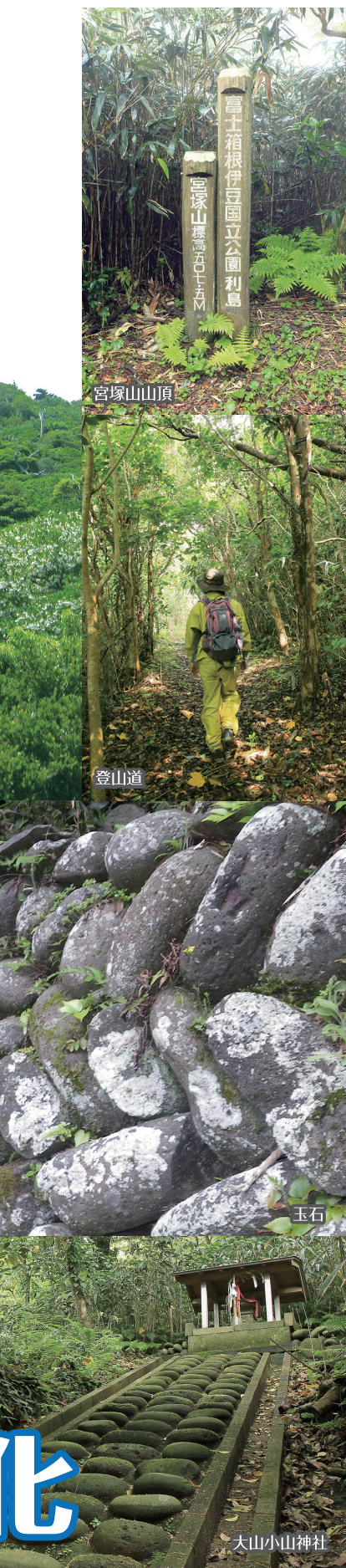


標高508m、登山口から約40分で頂上に着きます。頂上は円錐型、途中の見晴らし台から望む集落や大海原の眺めに、利島の自然が私たちを招いてくれるのを感じます。季節に応じた服装(長袖長ズボン)、帽子、救急用品、水筒、地図などを持参し、履き慣れた運動靴で楽しく登りましょう。

宮塚山

それぞれの神社の特徴や周囲の自然環境は少しずつ異なり、ゆっくり訪ねてみると現在の利島の文化や伝統に触れることが出来ます。お正月のジックワ火や流鏑馬、山廻りなど、昔から村の伝統的行事も神社を中心に行われてきました。約6,000年前から人が住んでいたと言われている利島、昭和32年に発掘調査が行われた大石山遺跡・ケツケイ山遺跡や阿豆佐和気神社・堂の山神社からの出土品や銅鏡、古文書など数多く、過去の歴史から学び、今後の利島の未来を考える一つの機会になりそうです。

歴史と文化



インヒヨドリ、メジロ、アトリ、セキレイなどの身近な鳥や天然記念物のアカコッコやカラスノボの留鳥、そして渡り鳥のオオミズナギドリなど、様々な鳥が棲んでいます。「宮塚山」「南ヶ山園地」「海岸」「集落」など、耳を澄ませば、早朝、昼間、夜間など種類によってさまざまな声が聞こえてきます。

鳥



イセエビ

サザエ

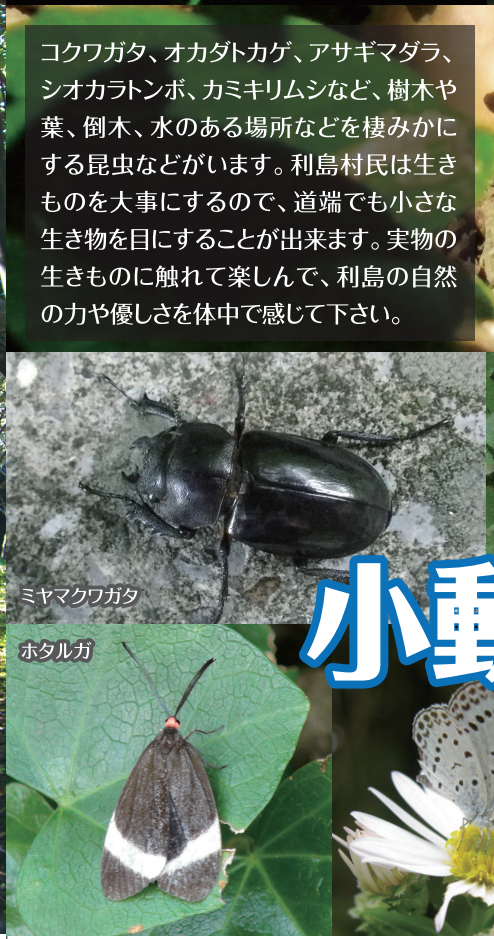
イセエビ

サザエ

イセエビ

サザエ

イセエビ



コクワガタ、オカダカゲ、アサギマダラ、シオカラトンボ、カミキリムシなど、樹木や葉、倒木、水のある場所などを棲みかにする昆虫などがあります。利島村民は生きものを大事にするので、道端でも小さな生き物を目にすることが出来ます。実物の生きものに触れて楽しんで、利島の自然の力や優しさを体中で感じて下さい。

ミヤマクワガタ

オカダカゲ

アサギマダラ

シオカラトンボ

カミキリムシ

アサギマダラ

小動物



利島の身近な動植物たちや、綺麗な空や海が村民に安らぎや潤いを与えてくれるように、観光客の皆さんも釣り、登山、散歩などを通して、利島ならではの自然体験から大きな感動が得られるでしょう。思い思いに利島の一日を楽しんでください。また遺跡や神社などから発見された文化財の数々から、利島の歴史や生活の様子に触れることができるので歴史民俗の好きな方なら飽きることがありません。さあ、あなた自身で、利島の自然を楽しんでください。

彩り



約300名の村民が暮らす利島は、江戸時代からヤブツバキが植えられ、島の全体の約8割を覆う、日本一の椿の生産地になりました。その椿油は香り豊かで、昔から江戸市民をはじめ日本中で利用されてきました。

ヤブツバキ

椿の実

明日葉

椿畑



冬の利島は在来種の藪椿(ヤブツバキ)の花でおおわれます。秋～冬に採取した椿の実製油センターで搾油されます。道路に転がっている椿の実も、利島村民には大切な宝物。椿の木の下には、樹木の本漏れ日を利用して明日葉が植えられています。冬～春は明日葉が美味しい季節です。大雨でも地面を崩さないように段々畑になっています。

ヤブツバキ

椿の実

明日葉

小動物